

## 「板橋区かわまちづくり計画」の取組について

### 1 「地域と連携した川づくりに係る事業（かわまちづくり支援制度）」への登録

国土交通省においては、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指し、市区町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、実現性の高い水辺の整備・利用に係る支援の取組として、「かわまちづくり支援制度」（以下、「本制度」という。）を実施している。

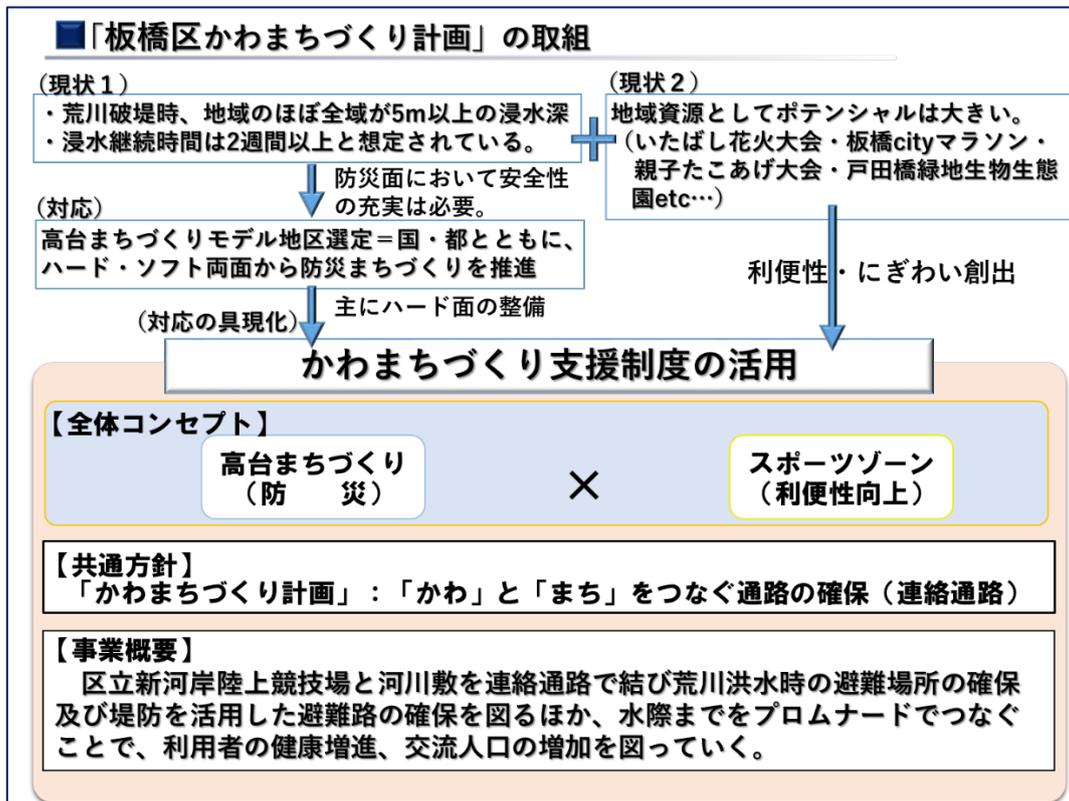
一方、板橋区では、荒川に関する施策として「災害に強い首都『東京』形成ビジョン」において、モデル地区に指定された舟渡・新河岸地区の避難場所確保等に関する検討に取り組むほか、誰もが親しめるスポーツ環境の整備等に取り組んでいる。

区は水害時における地域防災力の向上や河川敷の利活用による健康増進策に関する「かわまちづくり計画」を申請したところ、その必要性、実現可能性が高いと判断され、令和3年8月20日、本制度に登録されることとなった。

## 2 事業内容

### (1) 事業概要

区立新河岸陸上競技場と河川敷を連絡通路で結び荒川洪水時の避難場所の確保及び堤防を活用した避難路の確保を図るほか、水際までをプロムナードでつなぐことで、利用者の健康増進、交流人口の増加を図っていく。



## (2) ハード施策の内容

国土交通省: 河川区域内連絡通路整備、親水護岸整備、河川管理用通路(プロムナード)整備

板橋区 : 河川区域外連絡通路整備、案内サイン整備

## (3) ソフト施策の内容

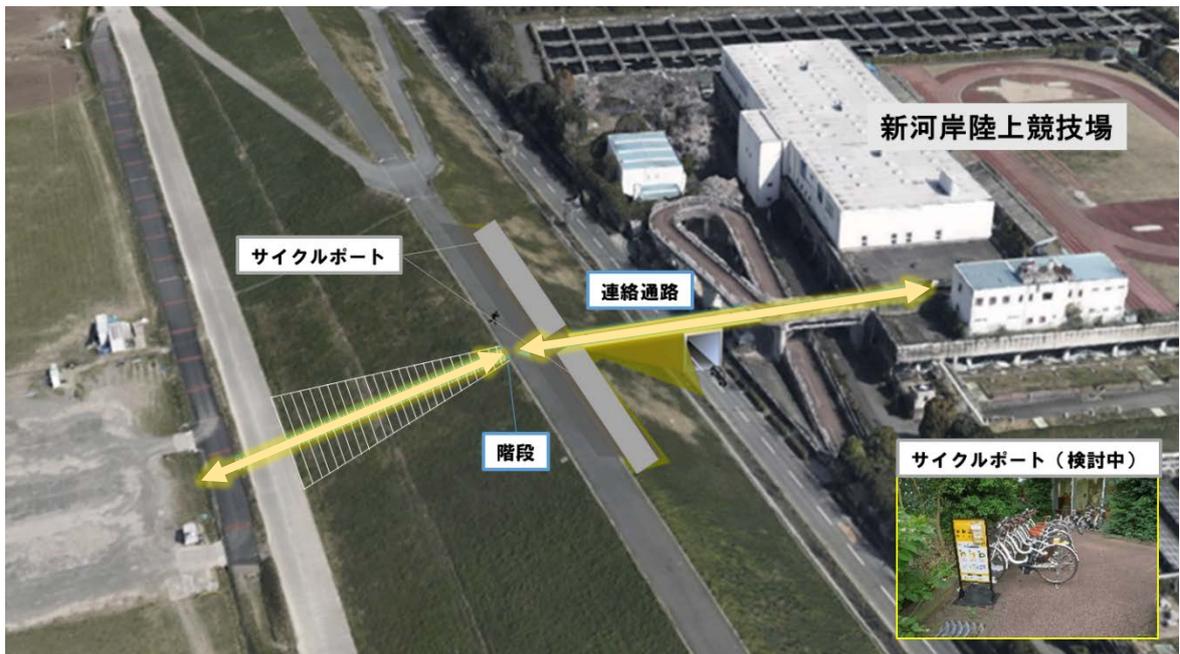
国土交通省: 都市・地域再生等利用区域の指定、荒川下流パンフレット等による情報発信等

板橋区 : 浸水区域内避難訓練実施、河川敷ウォーキング周遊マップ作成等

(板橋区かわまちづくり計画全体図)



(連絡通路イメージ図)



## 3 今後のスケジュール

令和4年度 調査・設計

令和5～6年度 施設整備

## 4 担当

危機管理部地域防災支援課地域支援係 電話 3579-2152

# 「板橋区かわまちづくり計画」の取組

参考資料

## (現状1)

- ・荒川破堤時、地域のほぼ全域が5m以上の浸水深
- ・浸水継続時間は2週間以上と想定されている。

↓ 防災面において安全性の充実が必要。

## (対応)

高台まちづくりモデル地区選定＝国・都とともに、ハード・ソフト両面から防災まちづくりを推進

↓ 主にハード面の整備  
(対応の具現化)

かわまちづくり支援制度の活用

## (現状2)

地域資源としてポテンシャルは大きい。  
(いたばし花火大会・板橋cityマラソン・親子たこあげ大会・戸田橋緑地生物生態園etc…)

↓ 利便性・にぎわい創出

## 【全体コンセプト】

高台まちづくり  
(防 災)

×

スポーツゾーン  
(利便性向上)

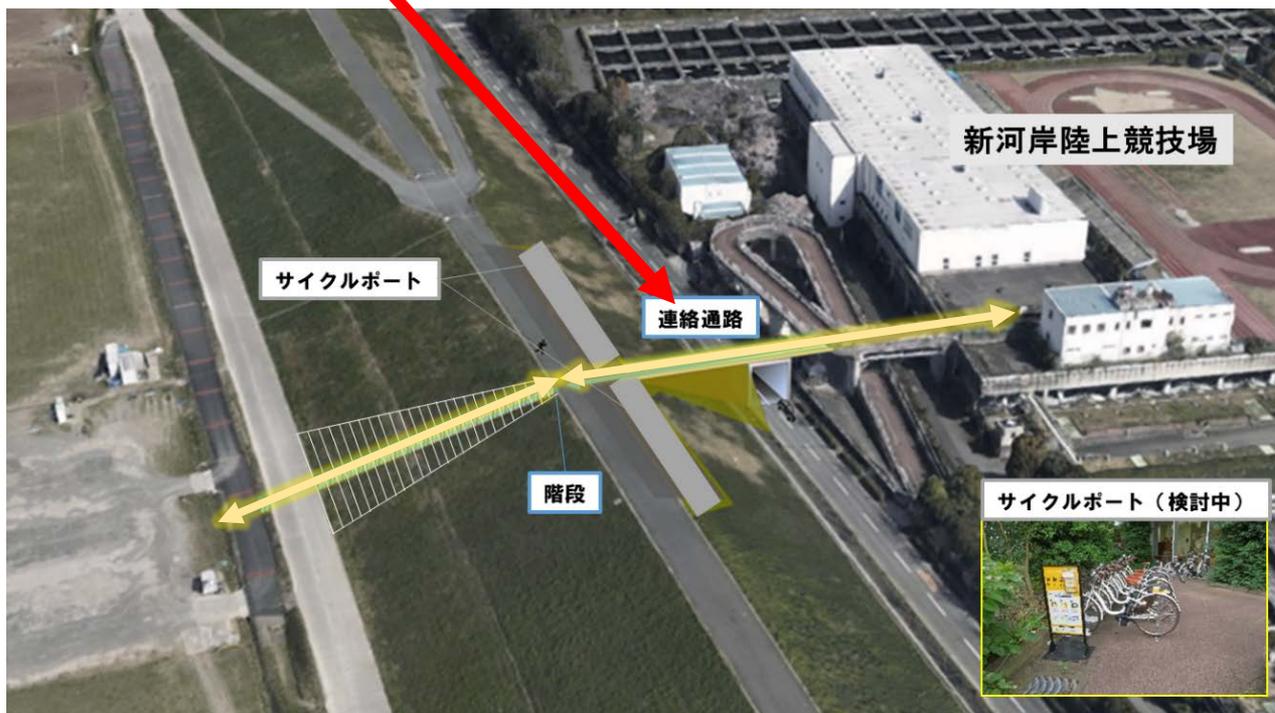
## 【共通方針】

「かわまちづくり計画」：「かわ」と「まち」をつなぐ通路の確保（連絡通路）

## 【事業概要】

区立新河岸陸上競技場と河川敷を連絡通路で結び荒川洪水時の避難場所の確保及び堤防を活用した避難路の確保を図るほか、水際までをプロムナードでつなぐことで、利用者の健康増進、交流人口の増加を図っていく。

# 板橋区かわまちづくり計画全体図



▲拠点整備のイメージ図 2